

## PHOTO REPORT

**2020年度を写真で振り返る**



私の「新しい日常」は、自転車での通勤に



コロナ対策についてテレビ出演（サンテレビ）



井戸知事と何度も直接面談（兵庫県庁）



感染対策から、式典も屋外で（市立瓦木幼稚園休園式）



武庫川女子大学附属高校書道部の皆さん  
が作品を披露に



西宮神社に能舞台が登場「羽衣」が華麗に  
舞われる前のトークに出演



アキタ西宮に市内初のストリートピアノが登  
場、ボーズだけですが



朝ドラ「エール」で千鶴子さん役の小南満佑  
子さん（西宮市出身）が市長室へ



「密」に注意しながらフレイル予防、いきいき  
体操に参加



「密」に注意しながらフレイル予防、いきいき  
体操に参加



太平洋戦全国空爆犠牲者追悼祈念式典  
に参列、泉明石市長と（姫路市手柄山）



三年前に大水害に見舞われた倉敷市を視  
察、伊藤倉敷市長と（倉敷市真備町）

障がい者のアート展、アートパラ深川へ。柿  
沢未途代議士と（東京・富岡八幡宮）

地域の旗持ち当番にデビュー

能見篤史投手が今年も西宮の子どもたち  
に嬉しいプレゼントをくれました

令和3年も成人式（二十歳の集い）は甲子  
園球場で開催されました

## 2021年は選挙の年!! 今年は、7月に兵庫県知事選挙、そして秋

までのどこかで衆議院の総選挙も必ず行われる一年です。知事選挙は、5期20年の長期に渡った井戸知事後継を決める注目の選挙です。

私自身の任期も来年4月までと、あと一年となりました。民意を常に胸に抱きながら、引き続き頑張っていきたいと思います。

後援会からのお知らせ

### 石井としろう後援会 会員登録(個人献金)のお願い

石井としろうの活動を支えるために、令和3年から、年会費制の会員登録をお願いすることと致しました。登録された方には、イベントのご案内や活動報告などをお送りいたします。申込用紙（必要な方はお申し出ください）を使って郵便局からお申込みいただくか、メールやFAXにてお名前、ご住所、電話番号、ご職業をお知らせいただき、下記口座へお振込みください。

- 年会費：3,000円（賛助会費10,000円）
- 振込口座：三菱東京UFJ銀行 西宮支店（普通）4538221  
Vision2050 代表 石井登志郎
- 連絡先：E-mail：office@toshiro.jp  
FAX：078-336-3438

#### プロフィール

石井登志郎(いしい・としろう)

- 1971年5月29日生まれ ●慶應義塾大学総合政策学部卒業
- 神戸製鋼所勤務 ●ベンシルバニア大学大学院公共政策課程修了(M.G.A.) ●株日本総合研究所研究員 ●株ヤフーJAPAN政策企画本部フェロー ●衆議院議員(2009～2012年) ●2018年4月～西宮市長 ●妻と娘との三人で日野町在住
- 著書：「古典に学ぶ民主主義の処方箋」(2016年游学社)  
「モヤモヤが一気に解決!親が知っておきたい教育の疑問31」(2017年集英社)

●西宮市の最新情報、新型コロナウイルス感染症対策、市政へのご意見やご提案をお受けする「市民の声(市長への手紙)」(石井市長が必ず目を通させていただきます)は、西宮市ホームページからご利用ください。西宮市ホームページ



## お知らせ

**新型コロナワクチン接種について**  
西宮市においては、かかりつけ医による個別接種を主軸にして、市施設における集団接種も行いながらワクチン接種を行います。  
※詳しくは、西宮市ホームページの特設ページをご覧ください。→

西宮市  
新型コロナワクチン接種センター

**0570-097-724**

- 接種場所、接種方法、接種券など、  
ワクチン接種の具体的な手続きに関する問い合わせ。
- おかげ間違いにご注意ください。
- 受付時間：09:00～17:30まで（土日祝日も受付）



# 西宮市長 石井としろう 市政報告

- 発行元：VISION2050 ■発行：令和3年4月1日
- 連絡先：〒663-8022 西宮市日野町9-62  
Tel.0798-67-5719 office@toshiro.jp

## ごあいさつ

## MESSAGE

## 社会全体が柔軟に、 そして、価値あるものへ。

この1年間、私たちは新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされ、自治体としてもその対策に追われた1年でもありました。

西宮市は保健所設置市でもあり、感染者への対応や積極的疫学調査などに主体的な役割を果たしながら、感染予防対策や経済支援策を進め、市民生活を支えるための施策を進めて参りました。今後も引き続き、こうした対策に取り組むとともに、全市民に対するワクチン接種に滞りなく対応していくために全力で取り組んで参ります。



◀ 昨年3月1日、県内初の感染者が西宮市で確認され、深夜に会見を開く。

このコロナ感染症は、現代社会のあり方にも大きな問いを投げかけるものであると思います。単に元の社会に戻すだけでなく、社会全体が柔軟に、そして価値あるものへと変わっていくチャンスにしなくてはなりません。

こうした状況で大切にしたいのが、しなやかに適応していく力=レジリエンス(resilience)です。レジリエンスという言葉は、弾力、復元力、または病気などからの回復力を表す際に使われますが、社会にも「しなやかに適応して生き延びる力」が今こそ求められていると思います。すなわち、レジリエンツな社会とは、こうした有事にこそ、過去に拘泥されるのではなく、変化を受け入れていかねばなりません。

日々暮らしていく中で、「あたりまえ」の日常がコロナによって脅かされている、その「あたりまえ」の中には、そう意識していかなかつたけど日々の生活に不可欠なものもあるれば、実はなくともそれは困らないものもあります。レジリエンツに社会を回復していく中で、何を維持し、何を変えていくか、改めて私たちの日常の「価値の再認識」について考えてみるきっかけにしていきたいと思います。

市役所の仕事も、しなやかに、この時代にこそ変えていきたいと思っています。市民に寄り添いながら、これまでの慣習にとらわれず、レジリエンツな西宮市を目指していきたいと思います！

西宮市長 石井としろう



toshiro.jp  
OPEN!  
オープンでフェア  
そしてアクティブに。